

卷 頭 言

1997年10月に西宮上ヶ原キャンパスの新大学図書館が開館して早くも2年半が経過しました。新しい図書館となり、以前にもまして本学の教育・研究を学術情報面より支援するための役割を果たしてこれたのではないかと自負しております。

さて、喜ばしいことに西宮上ヶ原キャンパスの大学図書館が、1999年10月27日に第15回日本図書館協会建築賞を受賞しました。この賞は、優れた建築構造を持つと同時に設備・機能・環境面にも優れている図書館に与えられます。日本の大学図書館建築の中で高い評価を得たことの証であり誠に喜ばしい限りです。

また、この度「第8回大学図書館特別展示・学術資料講演会」では、普段目にする機会の少ない図書資料である「八重津家旧蔵資料」と「丹羽記念文庫」を紹介し、講演会では光華女子大学の清水康次先生に講演をいただきました。マスコミにも紹介され、学内だけでなく近隣の方々の参加を得ました。

12月には今後一層の大学図書館の発展を期待して、「座談会」を主催しました。座談会では学長をはじめ参加者の皆様から、高度情報化時代において両キャンパスの大学図書館の役割は今後どうあるべきかを模索するための貴重な意見をいただきました。

これからも大学における学術情報の中心的な機関として、より一層の努力をしていきたいと存じます。

大学図書館長 丸茂 新